



既知の制限事項

Cloud Volumes ONTAP release notes

NetApp
July 14, 2026

目次

既知の制限事項	1
すべてのクラウド プロバイダにおけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限事項	1
サポートされていないONTAP機能	1
最大同時レプリケーション操作数	2
クラウド	2
プロバイダのスナップショットは、バックアップおよびリカバリ計画には使用しないでください。	
Cloud Volumes ONTAPは予約済みおよびオンデマンドのVMインスタンスのみをサポートします	2
自動アプリケーション リソース管理ソリューションは使用しないでください	2
ソフトウェアアップデートは、NetApp Consoleで完了する必要があります	2
Cloud Volumes ONTAP の導入は、クラウド プロバイダのコンソールから変更しないでください	2
ディスクとアグリゲートは Console から管理する必要がある	3
SnapManager ライセンスの制限	3
サードパーティのエージェントと拡張機能の制限	3
AWSのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項	3
AWS Outpost の制限	3
Flash Cacheの制限事項	3
Amazon CloudWatchによって報告された誤警報	4
Cloud Volumes ONTAP HAペアは即時ストレージギブバックをサポートしていません	4
AzureのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項	4
Azure VM拡張機能の使用に関する制限	4
HA構成におけるPremium SSD v2ディスクの制限	4
単一のアベイラビリティゾーンにおけるHA導入の制限事項	5
Flash Cacheの制限事項	5
HA導入の制限事項	5
Google CloudのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項	5
パケットミラーリングの制限	5
Google Private Service Connectの制限事項	5

既知の制限事項

すべてのクラウド プロバイダにおけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限事項

今回のリリースでサポートされていない、または今回のリリースでは正常に機能しないプラットフォーム、デバイス、機能が記載されています。これらの制限事項をよく確認してください。

以下の制限は、すべてのクラウド プロバイダ（AWS、Azure、Google Cloud）のCloud Volumes ONTAPに適用されます。

サポートされていないONTAP機能

一部の ONTAP 機能は Cloud Volumes ONTAP ではサポートされていません。以下はその例ですが、これらに限定されません：

- アグリゲートレベルのインライン重複排除
- アグリゲートレベルのバックグラウンド重複排除
- ディスクMaintenance Center
- ディスク完全消去
- FabricPoolミラーリング
- Fibre Channel（FC）
- フラッシュプール
- Infinite Volume
- インターフェイス グループ
- ノード内LIFフェイルオーバー
- MetroCluster
- マルチ管理者認証

Cloud Volumes ONTAPで複数管理者による検証を有効にすると、サポートされていない構成になります。

- RAID4、RAID-DP、RAID-TEC（RAID0に対応）
- Service Processor
- SnapLock ComplianceモードとEnterpriseモード（Cloud WORMのみがサポートされます）
- SnapMirror Synchronous
- VLAN
- 暗号化用の Onboard Key Manager（OKM）
- SMB継続的可用性（CA）

"継続的可用性を備えたSMB共有"による無停止運用はサポートされていません。

最大同時レプリケーション操作数

Cloud Volumes ONTAPの同時SnapMirrorまたはSnapVault転送の最大数は、インスタンスタイプやマシンタイプに関係なく、ノードあたり100です。

クラウド プロバイダのスナップショットは、バックアップおよびリカバリ計画には使用しないでください。

Cloud Volumes ONTAPデータのバックアップおよびリカバリ計画の一部として、クラウド プロバイダのスナップショットを使用しないでください。Cloud Volumes ONTAPでホストされているデータをバックアップおよび復元するには、常にONTAPスナップショットコピーまたはサードパーティのバックアップソリューションを使用する必要があります。

"NetApp Backup and Recoveryを使用してONTAPデータをバックアップおよびリストアする方法を学習します"。



WAFLファイルシステムのONTAP整合性ポイントによって、データの整合性が決まります。ONTAPだけがWAFLファイルシステムを休止してcrash-consistentバックアップを作成できます。

Cloud Volumes ONTAPは予約済みおよびオンデマンドの**VM**インスタンスのみをサポートします

Cloud Volumes ONTAPは、クラウド プロバイダの予約済みまたはオンデマンドのVMインスタンスで実行できます。他のタイプのVMインスタンスはサポートされていません。

自動アプリケーション リソース管理ソリューションは使用しないでください

自動アプリケーションリソース管理ソリューションでは、Cloud Volumes ONTAPシステムを管理しないでください。管理すると、サポートされていない構成に変更される可能性があります。たとえば、このソリューションによってCloud Volumes ONTAPがサポートされていないVMインスタンスタイプに変更される可能性があります。

ソフトウェアアップデートは、**NetApp Console**で完了する必要があります

Cloud Volumes ONTAP のアップグレードは、NetApp Console から完了する必要があります。System Manager または CLI を使用して Cloud Volumes ONTAP をアップグレードしないでください。これを行うと、システムの安定性に影響する可能性があります。

Cloud Volumes ONTAP の導入は、クラウド プロバイダのコンソールから変更しないでください

クラウド プロバイダのコンソールからCloud Volumes ONTAP構成を変更すると、サポートされていない構成になります。コンソールが作成および管理するCloud Volumes ONTAPリソースを変更すると、システムの安定性とコンソールのシステム管理能力に影響を及ぼす可能性があります。



初期導入後、Cloud Volumes ONTAPリソースに使用されるAzureサブスクリプション名の変更がサポートされます。

ディスクとアグリゲートは **Console** から管理する必要がある

すべてのディスクとアグリゲートは、コンソールから直接作成および削除する必要があります。これらのアクションを別の管理ツールから実行しないでください。そうすると、システムの安定性に影響を及ぼし、将来ディスクを追加する能力を妨げ、冗長なクラウド プロバイダ料金が発生する可能性があります。

SnapManager ライセンスの制限

SnapManagerサーバごとのライセンスは、Cloud Volumes ONTAPでサポートされています。ストレージ システムごと（SnapManagerスイート）のライセンスはサポートされていません。

サードパーティのエージェントと拡張機能の制限

サードパーティのエージェントとVM拡張機能は、Cloud Volumes ONTAP仮想マシンインスタンスではサポートされていません。

AWSのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項

以下の既知の制限事項は、Amazon Web ServicesのCloud Volumes ONTAPに固有のもので、["すべてのクラウド プロバイダにおけるCloud Volumes ONTAPの制限事項"](#)も必ず確認してください。

AWS Outpost の制限

AWS Outpostをお持ちの場合は、導入時にOutpost VPCを選択することで、そのOutpostにCloud Volumes ONTAPを導入できます。エクスペリエンスは、AWSにある他のVPCと同じです。最初にAWS OutpostにConsoleエージェントを導入する必要があることに注意してください。

指摘すべき制限がいくつかあります：

- 現時点では、単一ノードのCloud Volumes ONTAPシステムのみがサポートされています
- Cloud Volumes ONTAPで利用できるEC2インスタンスは、Outpostで利用可能なものに限定されます
- 現時点では汎用SSD（gp2）のみがサポートされています

Flash Cacheの制限事項

C5DおよびR5DインスタンスタイプにはローカルNVMeストレージが含まれており、Cloud Volumes ONTAPではFlash Cache_として使用します。次の制限事項に注意してください：

- Flash Cacheのパフォーマンス向上を利用するには、Cloud Volumes ONTAP 9.12.0までのすべてのボリュームで圧縮を無効にする必要があります。Cloud Volumes ONTAP 9.12.1に導入またはアップグレードする場合は、圧縮を無効にする必要はありません。

NetApp Consoleからボリュームを作成するときにストレージ効率なしを選択するか、ボリュームを作成してから ["CLIを使用してデータ圧縮を無効にする"](#)することができます。

- 再起動後のキャッシュの再ウォーミングは Cloud Volumes ONTAP ではサポートされていません。

Amazon CloudWatchによって報告された誤警報

Cloud Volumes ONTAPはアイドル時にCPUを解放しないため、["Amazon CloudWatch"](#)はEC2インスタンスの使用率が100%であることを確認すると、高CPU警告を報告することがあります。このアラームは無視できます。ONTAP statisticsコマンドは、CPUの実際の使用状況を表示します。

Cloud Volumes ONTAP HAペアは即時ストレージギブバックをサポートしていません

ノードが再起動した後、パートナーはストレージを返す前にデータを同期する必要があります。データの再同期にかかる時間は、ノードがダウンしている間にクライアントによって書き込まれたデータの量と、ギブバック時のデータ書き込み速度によって異なります。

["AWSで稼働するCloud Volumes ONTAP HAペアにおけるストレージの仕組みを学ぶ"](#)。

AzureのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項

以下の既知の制限事項は、Microsoft AzureのCloud Volumes ONTAPに固有のもので、["すべてのクラウド プロバイダにおけるCloud Volumes ONTAPの制限事項"](#)も必ず確認してください。

Azure VM拡張機能の使用に関する制限

Cloud Volumes ONTAPは、NetApp Consoleでの管理操作に影響するため、Azure仮想マシン（VM）拡張機能をサポートしていません。デプロイ中、ConsoleはVMへの拡張機能のインストールを防止します。既存のCloud Volumes ONTAP VMに拡張機能が既にインストールされている場合は、Microsoft Azure サポートに連絡して削除してください。ガイダンスについては、ナレッジベース（KB）の記事を参照してください ["Azure VM管理拡張機能をCloud Volumes ONTAPにインストールできますか？"](#)

2025年7月14日から、Cloud Volumes ONTAP VMでVM拡張機能が検出された場合、NetAppから電子メールが送信され、コンソールで通知されます。

HA構成におけるPremium SSD v2ディスクの制限

Premium SSD v2 マネージド ディスクには、Azure での高可用性（HA）展開に関して次の制限があります：

- 非ゾーン リージョンでの HA 展開ではサポートされません。
- 複数の可用性ゾーンにわたるHA展開ではサポートされません。
- 単一の可用性ゾーン内にデプロイされた HA 構成でのみサポートされます。

Premium SSD v2 マネージドディスクを Cloud Volumes ONTAP HA 構成で使用するには、次の要件が満たされていることを確認してください：

- Cloud Volumes ONTAPバージョンは9.15.1以降です。
- HA 導入環境は、Azure の単一のアベイラビリティゾーンにあります。
- 選択したリージョンとゾーンでは、Premium SSD v2 マネージド ディスクがサポートされています。サポートされているリージョンについては、["Microsoft Azure Webサイト:地域別に利用可能な製品"](#)を参照してください。

詳細については、["Azure での Premium SSD v2 Managed Disks のサポート"](#)を参照してください。

単一のアベイラビリティゾーンにおけるHA導入の制限事項

Cloud Volumes ONTAP 9.15.1以降では、Azureの単一のアベイラビリティゾーン（AZ）でHAモードの仮想マシン（VM）インスタンスをデプロイできます。この機能をサポートする基準については、["Azureの単一の可用性ゾーンにHAペアを導入する"](#)を参照してください。

Cloud Volumes ONTAPのバージョンが9.15.1より前の場合、またはこれらの条件のいずれかが満たされていない場合は、可用性セットを利用する以前の導入モデルが有効になります。これはHA構成にのみ適用されます。

Flash Cacheの制限事項

Cloud Volumes ONTAPは、一部のVMタイプでローカルNVMeストレージを_Flash Cache_として使用します。次の制限事項に注意してください：

- ・再起動後のキャッシュの再ウォームアップはサポートされていません。

HA導入の制限事項

一部のリージョンでは HA ペアはサポートされていません。

["サポートされているAzureリージョンのリストを表示します"](#)。

Google CloudのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項

以下の既知の制限事項は、Google Cloud PlatformのCloud Volumes ONTAPに固有のものです。["すべてのクラウド プロバイダにおけるCloud Volumes ONTAPの制限事項"](#)も必ず確認してください。

パケットミラーリングの制限

["パケットミラーリング"](#)は、Cloud Volumes ONTAPを導入するGoogle Cloud VPCで無効にする必要があります。

Cloud Volumes ONTAPは、パケットミラーリングが有効になっていると正常に動作しません。

Google Private Service Connectの制限事項

Cloud Volumes ONTAPをデプロイするVPC内で["Google Private Service Connect"](#)を利用する場合は、必要な["APIエンドポイント"](#)にトラフィックを転送するDNSレコードを実装する必要があります。

Cloud Volumes ONTAP から Google Cloud Storage バケットへのデータの階層化は、現在 Private Service Connect ではサポートされていません。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。